



鈴鹿地区交通安全だより

～2023, No. 6～

※ 三重県交通安全協会ホームページから過去発行のものが閲覧できます。

令和5年3月16日
鈴鹿地区交通安全協会
電話・FAX 059-388-1241
suzukaankyo@jeans.ocn.ne.jp

◎ 令和4年中の県内及び鈴鹿警察署管内における交通事故発生状況について(確定値)

第1 三重県の交通事故

1 前年との比較

区分	総事故件数	人身事故件数	死者数	負傷者数	物件事故件数
令和4年	52,470	2,917	60	3,638	49,553
令和3年	49,865	2,722	62	3,338	47,143
増減数	2,605	195	-2	300	2,410
(増減率)	5.2%	7.2%	-3.2%	9.0%	5.1%

※ 交通事故の1日平均発生数 人身事故:8件、死者数:0.16人、負傷者数:10人

2 死亡事故の特徴

- (1) 高齢者の死者数が約7割(68.3%)を占める。
- (2) 交通弱者(歩行中・自転車乗用中)が約半数(48.3%)を占める。
- (3) シートベルトの非着用者が約3割(32.0%)を占める。
- (4) 飲酒運転は4件(前年比+3件)で、飲酒運転の根絶に至らない。

第2 鈴鹿市の交通事故

1 前年との比較

区分	総事故件数	人身事故件数	死者数	負傷者数	物件事故件数
令和4年	5,591	278	9	343	5,313
令和3年	5,359	236	4	284	5,123
増減数	232	42	5	59	190
(増減率)	4.3%	17.8%	125.0%	20.8%	3.7%

※ 交通事故の1日平均発生数 人身事故:0.76件、死者数:0.024人、負傷者数:0.94人

2 死亡事故の特徴

- (1) 交通死者数は9人(前年比+5人)で、大幅に増加した。
- (2) 高齢者の死者数は5人で、約6割(55.6%)を占める。
- (3) 交通弱者(歩行中・自転車乗用中)が7割近く(66.7%)を占める。
- (4) 発生時間帯は、早朝、夕方・夜間が約6割を占める。

【過去5年間の死者数】

年	H30	R元	R2	R3	R4
鈴鹿市	11	5	5	4	9
三重県	87	75	73	62	60

3 路線別（人身事故）

区 分	人身件数	構成率（%）	死者数	負傷者数
R1	13	4.7%		14
R23	44	15.8%	1	58
その他国道	3	1.1%		4
県道	102	36.7%	1	132
市道	93	33.5%	6	109
町道等	6	2.2%		8
その他	17	6.1%	1	18
計	278	100.0%	9	343

4 年代別・状態別（死傷者）

区 分	自動車	二輪車・原付	自転車	歩行者	その他	計	増減数 (R4-3)
幼児	6					6	2
小学生	10		3	1		14	8
中学生	1		2			3	0
高校生	3	1	5			9	2
若年者	30	6	5	2		43	9
高齢者	23	1	3	6		33	-1
その他	201	12	9	12	1	235	38
計	274	20	27	21	1	343	58

※ 若年者は、16歳～24歳まで。

5 事故類型別（人身・物件事故）

区 分	人身事故	構成率（%）	死者数	負傷者数	物件事故	総事故件数	
人対車両	24	8.6%	4	20	61	85	
車両相互	正面衝突	4	1.4%		4	16	20
	追 突	111	39.9%		156	890	1,001
	出会い頭	69	24.8%		87	932	1,001
	そ の 他	58	20.9%	1	68	1,655	1,713
車両単独	11	4.0%	3	8	1,759	1,770	
そ の 他	1		1			1	
合 計	278	100%	9	343	5,313	5,591	

【参考メモ】

- ・ 県内の交通事故死者数は、60人で、前年より2人減少し、統計を取り始めた昭和29年以降最少となった。死者数60人は、人口10万人当たりの死者数では、3.42人となり、全国都道府県ワースト7位(前年は、ワースト6位)であった。
- ・ 鈴鹿市の交通事故死者数は、9人で、前年と比べ+5人と大幅に増加した。人口10万人当たりの死者数は4.52人で、全国ワースト6位であった(全国264都市中の順位)。

(一財)三重県交通安全協会:<http://www.mie-ankyuu.com>、三重県警察:<http://www.police.pref.mie.jp>